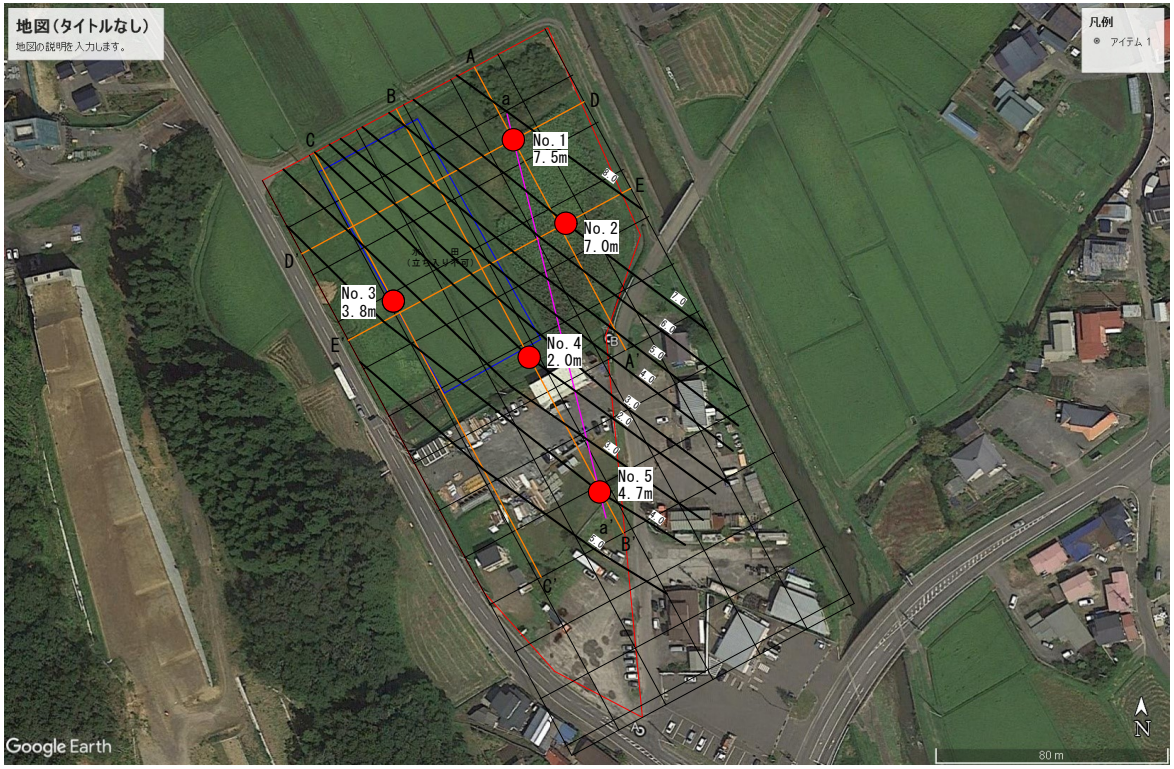
平面図

A3=1:2000



凡 例

No. 1 7. 5m	ボーリング調査位置、岩盤高さ
A —— A'	横断面線
a —— a'	横断面線（参考）
5. 0	岩盤高さコンター

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名

事業名 または 工事名　　広域道の駅整備に係る地質調査業務

調査目的及び調査対象　　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	岩手県久慈市夏井町鳥谷地内			北緯	40° 13′ 32.181″
発注機関	久慈市			調査期間	2019年 6月 3日 ～ 2019年 6月 5日	東経	141° 46′ 54.467″
調査業者名	株式会社菊池技研コンサルタント 電話 0192-27-0835	主任技師	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	現場代理人	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	コア鑑定者	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号
						ボーリング責任者	小向巧一 地質調査技士 登録番号: 第22462号
孔口標高	T.P. 15.02m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	11.00m					使用機種	試錐機：東邦D-0 エンジン：ヤンマーNFD-10　ポンプ：東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1 2 3	11.07	3.95		シルト		褐～暗褐	rc1			非常に不均質な層。 全体に有機物を混入。 砂分を不均一に混入している。 深度0.00～0.10m間草根混入。 深度1.85～2.00m間シルト質砂。 深度2.00～2.50m間未分解有機物混入。 深度2.55～2.65m間中砂。
4 5	9.37	5.65		シルト質砂		灰褐	rd1			砂は細～中砂。 不均質にシルトを含む。 所々に有機物を混入する。
6 7	7.52	7.50		砂礫		灰褐	rd1			砂は中～粗砂。 礫はφ30mm以下の円～亜円礫。 所によりシルト分を含む。
8 9 10 11	3.97	11.05		礫岩		褐灰				φ40mm以下の円礫を主体とした礫岩。 マトリックスは粗粒砂岩。 コアはマトリックス流出し礫状。 礫種は安山岩、凝灰岩、チャート等で非常に硬質。
12 13 14 15										

孔内水位／測定月日：06/03 0.60

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
0	1.15 / 1.45	0 / 300			0 / 300		300
0	2.15 / 2.45	0 / 300			0 / 300		300
0	3.15 / 3.45	0 / 300			0 / 300		300
2	4.15 / 4.45	1 / 200	1		2 / 300		
1	5.00 / 5.45	0 / 250	1	1	2 / 450		
16	6.15 / 6.45	5	4	7	16 / 300		
4	7.15 / 7.50	1	2	2 / 150	5 / 350		
375	8.15 / 8.19	50 / 40			50 / 40	40	
150	9.05 / 9.15	50			50 / 100	100	
150	10.05 / 10.15	50			50 / 100	100	
300	11.00 / 11.05	50 / 50			50 / 50	50	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
2.00	T-1	Ⓣ			6/3
2.85					6/4
					6/5

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

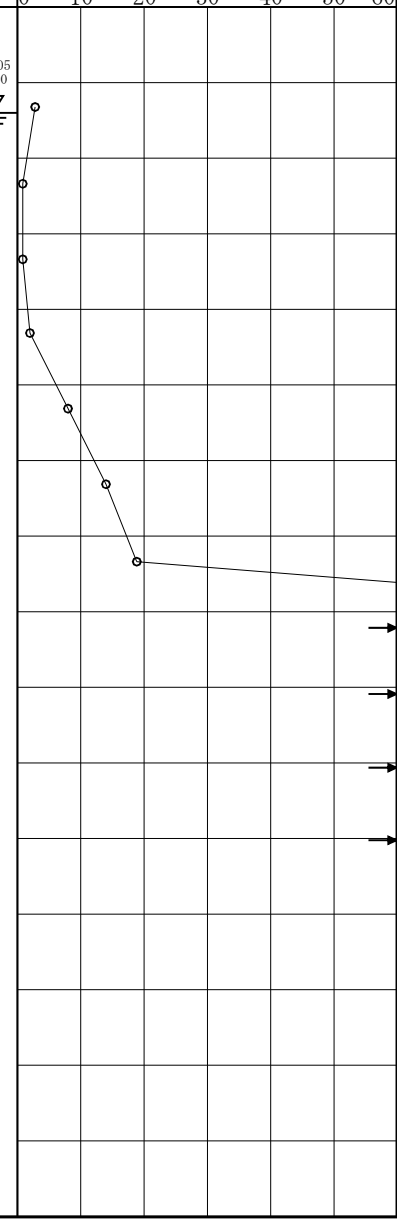
調　　査　　名

事業名 または 工事名　広域道の駅整備に係る地質調査業務

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.2	**調査位置**	岩手県久慈市夏井町鳥谷地内			**北緯**	40° 13′ 31.119″
発注機関	久慈市			**調査期間**	2019年 6月 5日 ～ 2019年 6月 6日	**東経**	141° 46′ 55.184″
調査業者名	株式会社菊池技研コンサルタント 電話 0192-27-0835	**主任技師**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**現場代理人**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**コア鑑定者**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号
						ボーリング責任者	小田島美廣 地質調査技士 登録番号: 第15664号
孔口標高	T.P. 14.99m	**角度**	180°, 上/下, 90°, 0°, 0°	**方位**	北 0°, 90° 東, 180° 南, 270° 西	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直 90°, 0°
総削孔長	11.00m					**使用機種**	**試錐機**: 東邦D-0 **エンジン**: ヤンマーNFD-10　**ポンプ**: 東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	14.79	0.20		表土		褐		rc1		シルト質砂。草根混入。	
1	13.64	1.35		砂		茶褐	rd1			中砂。少量シルト混入。	06/05 1.40
	13.09	1.90		礫混じり砂		茶	rd1			砂は粗砂。礫はφ10mm以下の亜角礫。	
2	12.39	2.60		砂		茶灰	rd1			中砂。	
3 4	9.99	5.00		シルト		暗灰褐		rc1		中位の含水比のシルト。 少量細砂が混じる。 所々3～5cm程度の砂層を挟む。	
5	9.29	5.70		砂		暗褐	rd2			砂は細砂。5.35～5.70m間φ20～30mmの亜角礫が混じる。	
6 7	6.99	8.00		砂礫		茶褐	rd3			砂は中～粗砂。 礫はφ30mm以下の亜円礫主体で、所によりφ50mm程度の岩片が混じる。	
8 9 10	3.97	11.02		礫岩		褐灰				φ40mm以下の円礫を主体とした礫岩。 マトリックスは粗粒砂岩。 コアはマトリックスが流出し礫状。 巨石が混入する部分はL=5cmの短棒状、岩片状コア。 礫種は安山岩、凝灰岩、チャート等で非常に硬質。	
11 12 13 14 15											



標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
3	1.15 / 1.47	1	1	1/120	3/320								
1	2.15 / 2.50	1/350			1/350								
1	3.15 / 3.50	1/350			1/350			3.00 / 3.85	T-2	Ⓣ			
2	4.15 / 4.45	1	1/200		2/300								
8	5.15 / 5.45	4	2	2	8/300								
14	6.15 / 6.45	4	6	4	14/300								
19	7.15 / 7.50	7	9	6/150	22/350								6/5
150	8.15 / 8.25	50			50/100	100							
100	9.00 / 9.15	31	19/50		50/150	150							
150	10.00 / 10.10	50			50/100	100							
750	11.00 / 11.02	50/20			50/20	20							6/6

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

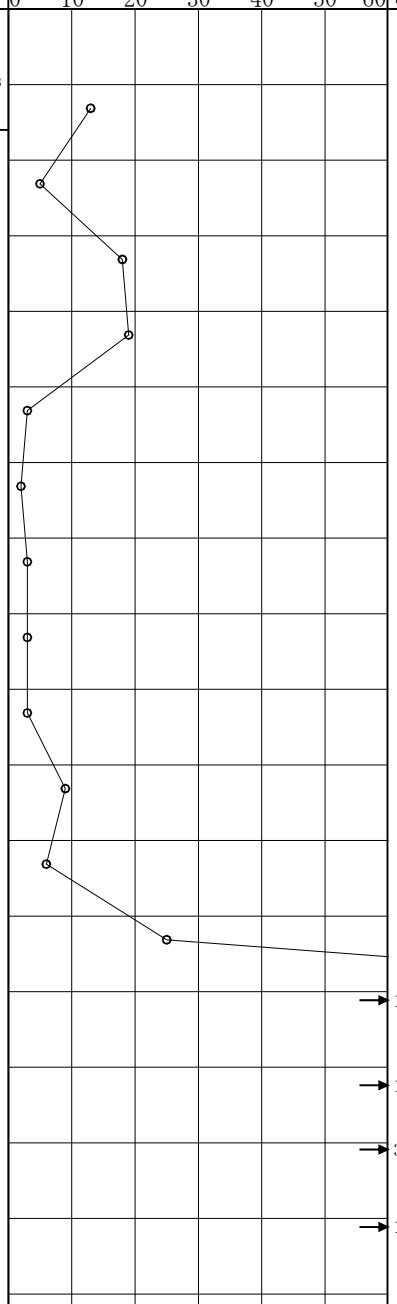
調　　査　　名

事業名 または 工事名　広域道の駅整備に係る地質調査業務

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.3	**調査位置**	岩手県久慈市夏井町鳥谷地内			**北緯**	40° 13′ 30.351″
発注機関	久慈市			**調査期間**	2019年 6月 5日 ～ 2019年 6月 6日	**東経**	141° 46′ 52.364″
調査業者名	株式会社菊池技研コンサルタント 電話 0192-27-0835	**主任技師**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**現場代理人**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**コア鑑定者**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号
						ボーリング責任者	山本 信男 地質調査技士 登録番号: 第14804号
孔口標高	T.P. 16.46m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	16.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦D-0
							エンジン ヤンマーNFD-10　**ポンプ** 東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	15.01	1.45		盛土		茶褐	rd3			礫混じり砂の盛土。砂は中砂。礫はφ30mm以下の亜角礫が主体。深度0.30～0.60m間砂質礫で、L=8cm程度の岩片コア混入する。	06/03 1.60
	14.76	1.70		砂質シルト		褐		rc1		旧表土。草根混入する。	
2	14.01	2.45		砂		褐	rd1			中砂。	
3 4 5	11.26	5.20		砂礫		茶褐～灰褐	rd3			砂は粗砂。礫はφ30mm以下の亜円～亜角礫。礫種は安山岩やチャートで非常に硬質。	
6 7 8 9 10	6.16	10.30		砂質シルト		暗褐		rc1		中位の含水比のシルト。砂は細～微細砂。不均質で所により砂分を多く混入する。深度5.20～6.00mまで砂分多い。深度6.85～7.00m間中砂。	
11	5.01	11.45		砂		暗褐	rd2			細～中砂。少量のシルト分混じる。	
12	3.81	12.65		礫混じり砂		暗褐	rd3			砂は粗砂。礫はφ10mm以下の亜角礫。	
13 14 15	0.96	15.50		泥岩		暗褐				コアは短棒～棒状に採取。棒状コアは手で折れる、表面は金属棒で削れる硬さ。所により炭化物を混入する。	
16	0.31	16.15		砂岩		淡緑灰				砂は細～中粒。	
17											



標準貫入試験

N値	深度 (m)	100mごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
13	1.15	3	7	3	13/300		
5	1.45 / 2.15	2	1	2	5/300		
18	2.45 / 3.15	5	6	7	18/300		
19	3.45 / 4.15	8	6	5	19/300		
3	4.45 / 5.15	1	1	1	3/300		
2	5.45 / 6.15	1/150	1/150		2/300		
3	6.45 / 7.15	1	1	1	3/300		
3	7.45 / 8.15	1	1	1	3/300		
3	8.45 / 9.15	1	1	1	3/300		
9	9.45 / 10.15	2	2	5	9/300		
6	10.45 / 11.15	2	2	2	6/300		
25	11.45 / 12.15	6	10	9	25/300		
150	12.45 / 13.05 / 13.15	50			50/100	100	
100	14.15 / 14.30	25	25/50		50/150	150	
300	15.05 / 15.10	50/50			50/50	50	
150	16.05 / 16.15	50			50/100	100	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
8.00	T-3	Ⓣ
8.80		

原位置試験	室内試験	削孔月日
		6/5
		6/6

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名

事業名 または 工事名　広域道の駅整備に係る地質調査業務

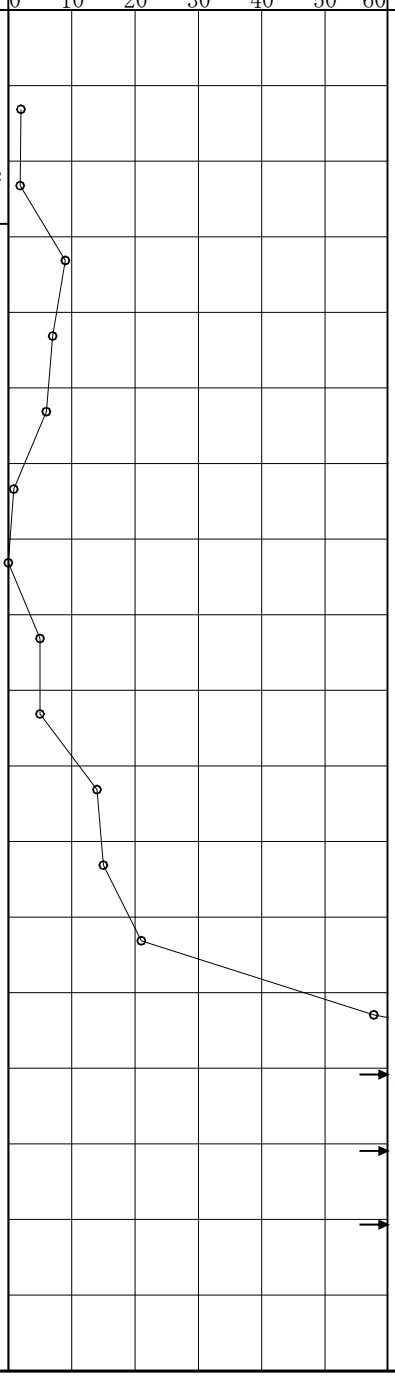
調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.4	**調査位置**	岩手県久慈市夏井町鳥谷地内			**北緯**	40° 13′ 29.538″
発注機関	久慈市			**調査期間**	2019年 6月 12日 ～ 2019年 6月 14日	**東経**	141° 46′ 54.431″
調査業者名	株式会社菊池技研コンサルタント 電話 0192-27-0835	**主任技師**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**現場代理人**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**コア鑑定者**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号
						ボーリング責任者	小田島美廣 地質調査技士 登録番号: 第15664号
孔口標高	T.P. 15.28m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	16.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦D-0		
エンジン	ヤンマーNFD-10	**ポンプ**	東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	14.48	0.80		シルト質砂		暗褐	rd1			砂は細砂。シルト分多くところによりシルト優位。上部に草根混入。
1	13.58	1.70		シルト		暗褐		rc1		含水比中位のシルト。有機物混入。
2	12.78	2.50		砂		灰褐	rd1			細～中砂。
	12.48	2.80		砂質シルト		暗褐		rc1		有機物混入。
3	11.98	3.30		砂		灰褐	rd1			細～中砂。
4	10.63	4.65		砂礫		灰褐	rd2			砂は細砂。5.35～5.70m間φ20～30mmの亜角礫が混じる。
	10.38	4.90		礫混じりシルト		暗褐		rc2		砂は粗砂。礫はφ30mm以下の円～亜円礫。
5	9.83	5.45		火山灰質砂		淡赤褐	rd2			微細砂。φ20mmの円礫混じる。
6				砂		褐	rd2			細～中砂主体の不均質な層。シルト分を不規則に含み、所々シルト質砂状。所によりシルト分優位。
7										
8										
9	5.58	9.70								
10				砂礫		灰褐	rd3			砂は粗砂。礫はφ30mm以下の円～亜角礫主体で、φmax50mm位。礫種は花崗岩、安山岩、チャート等で非常に硬質。
11										
12										
13	1.98	13.30								
14				礫岩		褐灰				φ40mm以下の円礫を主体とした礫岩。マトリクスは粗粒砂岩。コアはマトリクスが流出し礫状。礫種は安山岩、凝灰岩、チャート等で非常に硬質。
15										
16	-0.83	16.11								
17										

孔内水位／測定月日：06/12 2.83



標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
2	1.15 1.45	1/150	1/150		2/300								
2	2.15 2.47	1/200	1/120		2/320								
9	3.15 3.45	2	3	4	9/300								
7	4.15 4.45	2	3	2	7/300								
6	5.15 5.45	2	3	1	6/300								
1	6.15 6.50	1/350			1/350			6.00 6.85	T-4	Ⓣ			
0	7.15 7.45	0/300			0/300		300						
5	8.15 8.45	1	2	2	5/300								
5	9.15 9.45	1	2	2	5/300								
14	10.15 10.45	5	5	4	14/300								6/12
15	11.15 11.45	5	5	5	15/300								
21	12.15 12.45	10	6	5	21/300								
58	13.15 13.41	10	15	25/60	50/260	260							
107	14.00 14.14	36	14/40		50/140	140							6/13
94	15.00 15.16	26	24/60		50/160	160							
136	16.00 16.11	43	7/10		50/110	110							6/14

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

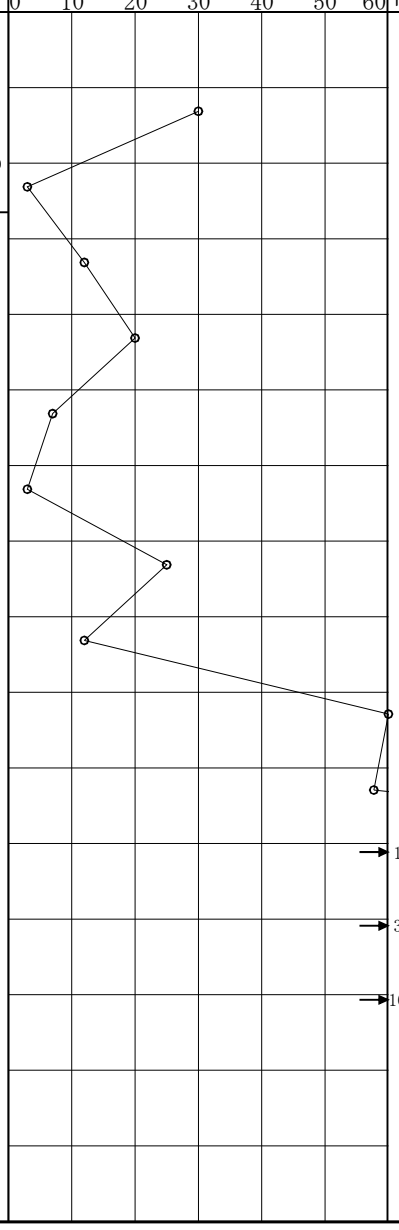
調　　査　　名

事業名 または 工事名　広域道の駅整備に係る地質調査業務

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.5	**調査位置**	岩手県久慈市夏井町鳥谷地内			**北緯**	40° 13′ 27.838″
発注機関	久慈市			**調査期間**	2019年 6月 9日 ～ 2019年 6月 11日	**東経**	141° 46′ 55.366″
調査業者名	株式会社菊池技研コンサルタント 電話 0192-27-0835	**主任技師**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**現場代理人**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号	**コア鑑定者**	久保田光喜 地質調査技士 登録番号: 第10340号
						ボーリング責任者	山本 信男 地質調査技士 登録番号: 第14804号
孔口標高	T.P. 14.97m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	13.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦D-0
							エンジン ヤンマーNFD-10　**ポンプ** 東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	14.42	0.55		盛土		茶褐		rc2		礫混じり砂の盛土。砂は中砂。礫はφ5mm以下の亜円礫。	
	14.17	0.80		盛土		灰	rd2			礫の盛土。φ25mm以下の亜角礫。チューブ片混じる。	
1											
2	12.17	2.80		砂		茶褐	rd1			均等な中砂。少量のシルト分混入。深度0.80～1.00m間φ5mmの亜角礫混入する。	06/10 2.65
3	11.47	3.50		礫混じり砂		茶褐	rd3			砂は中砂。礫はφ30mm以下の亜円礫。	
	11.27	3.70		砂礫		暗褐	rd3			砂は中～粗砂。礫は3mm以下の亜円礫。少量のシルト分混入。	
4	10.97	4.00		礫混じりシルト質砂		暗灰褐	rd3				
	9.97	5.00		砂質礫		暗褐	rd2			不均質な層。砂は細～中砂。礫はφ30mm亜円礫。深度3.80～3.90m間シルト分優位で有機物を混入。	
5	9.22	5.75		砂		暗褐～赤褐	rd2			砂は粗砂。礫はφ30mm以下の亜円礫。	
6	8.27	6.70		砂質シルト		暗褐		rc1		砂は中砂。シルト分を混入。深度5.45～5.75m間火山灰質砂。	
7	7.67	7.30		砂		緑褐	rd3			含水比中位のシルト主体。少量の砂分、有機物を混入。 中砂。	
8											
9	4.67	10.30		砂礫		灰褐	rd3			不均質な砂礫。砂は中～粗砂。礫はφ10～20mmの亜円礫主体にφmax40mm。8.50～8.70m間中砂。	
10											
11				礫岩		茶褐				φ40mm以下の円礫を主体とした礫岩。マトリクスは粗粒砂岩。コアはマトリクスが流出し礫状。礫種は安山岩、凝灰岩、チャート等で非常に硬質。	
12	2.37	12.60									
13	1.83	13.14		砂岩		灰				粗粒砂岩。	
14											
15											



標準貫入試験 深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
1.15	30	10	10	10	30/300								
1.45													
2.15	3	1	1	1	3/300								
2.45													
3.15	12	2	5	5	12/300								
3.45													
4.15	20	6	6	8	20/300								
4.45													
5.15	7	1	2	4	7/300								
5.45													
6.15	3	1	1	1	3/300								
6.45													
7.15	25	4	8	13	25/300								
7.45													6/8
8.15	12	4	5	3	12/300								
8.45													
9.15	60	25	17	8/50	50/250	250							
9.40													
10.15	58	12	28	10/60	50/260	260							
10.41													6/10
11.05	→150	50			50/100	100							
11.15													
12.05	→300	50/50			50/50	50							
12.10													6/11
13.05	→1667	50/9			50/9	9							
13.06													